



2021年7月1日

視覚障がい者向け遠隔サポートサービスの開発と実証実験の実施

株式会社プライムアシスタンス（代表取締役社長執行役員：大木 雅人、以下「プライムアシスタンス」）は、視覚障がい者にスマートフォンを通じて遠隔のコンタクトセンターから視覚情報を提供するサービス「Eyeco Support（アイコサポート）」の実証実験を2021年7月1日から実施します。

1. 背景

プライムアシスタンスは、自動車のロードアシスタンスや住宅のホームアシスタンスなど、世の中のお困りごとを解決するサービスを広く展開しています。このたび、視覚障がい者の社会参加促進や生活の質の向上などを目的に、視覚障がい者の日常のお困りごとをサポートする新サービスを、SOMPOホールディングス株式会社デジタル戦略部 Sprint チーム^{*}と共に開発しました。

視覚障がい者の多くは、視覚情報へのアクセスが限られることから、何らかの不自由を経験されています。本サービスはプライムアシスタンスの強みであるロードアシスタンスサービスで培った高品質なコンタクトセンターのオペレーション（人）とスマートフォンからのカメラ画像、GPS 地図情報（デジタル技術）の融合により、視覚障がい者に対して必要な情報を生の声で伝えることでQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上を目指します。

^{*}SOMPOホールディングスのデジタル戦略部に所属するDXアジャイル内製開発組織

2. 「Eyeco Support（アイコサポート）」の概要

スマートフォンで専用アプリを起動すると、遠隔のコンタクトセンターのオペレーターが、スマートフォンのカメラ映像を確認し、利用者に対して視覚情報やGPS情報に基づく位置情報をお知らせします。

（ご利用例）

- ・お出かけ前の身だしなみのチェック
- ・郵便物や書類の読み上げ
- ・目的地までの道案内、お買い物サポート



3. 実証実験の概要

2021年7月1日から2021年9月25日（予定）までの期間に、「日本視覚障害者団体連合」「東京視覚障害者生活支援センター」「日本点字図書館」などのご協力のもと、実際に首都圏在住の視覚障がい者にサービスをご利用いただき、実証実験を実施します。

4. 今後の予定

実証実験の結果をふまえ、2021年10月以降のサービス開始を予定しています。また、今後、公共交通機関や商業施設などの事業者との協業や、高齢者、訪日外国人などへのサポートにノウハウを活用していくことも検討しています。

5. 目指すべき未来について

プライムアシスタンスでは本サービスの開発にあたり、オペレーターの同行援護従事者資格の取得推進や障がい者の雇用促進に取り組んでいます。障害を持つ方々への理解を深めると共に、「声の視覚情報」という選択肢を提供することにより、視覚障がい者の自由な暮らし、社会参画に繋がっていきます。

以上

<p>当社では、本業として社会課題に向き合い、「最上級のサービス」で世の中のあらゆるお困りごとをアシストすることにより、SDGs(持続可能な開発目標)達成への貢献を目指しています。</p>	主に貢献できるSDGsの目標			
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	